

アグリキャンパスプロジェクト取組概要

① プロジェクト名	能勢町天王地区の農家の方々と大阪大学もったいないーととの、農業体験を通じた交流
② 大学名	大阪大学 もったいないーと
③ 取組相手	天王ナチュラルファームの方々、能勢町天王地区の農家の方々
④ 取組場所	能勢町天王地区
⑤ 取組内容	<p>能勢町天王地区の農家の方々と、大阪大学の学生で構成された、食品ロス削減のための活動に取り組む「もったいないーと」というサークルが、不定期ながらも農業を通じた交流を行う。サークルメンバーの個人的なつながりをもとに、もったいないーとの活動で使用する野菜を天王地区の農家の方からいただいたことをきっかけに、天王地区の農家の方とサークル全体が関わりを持つようになった。これまで、栗の木の植樹活動や黒豆の農作業体験、牧場見学、ドローンを駆使したスマート農業見学など、様々な体験・見学をさせていただいた。また、天王ナチュラルファームの方々から、天王地区や農業の現況や、今後の農業の形などの座学もさせていただいた。</p>
⑥ 取組目標	<p>天王地区の農家の方々と学生が交流することで、学生は農業に対する知識・関心を高めるとともに、農業体験を通して学生が実感した作物の価値・貴重さを今後のサークル活動で多くの人に広める、あるいは今後の各々の生活に活かす。天王地区の農家の方々は、実際に取り組んでいる活動を学生に周知し、農業の興味・関心を持ってもらうと同時に、地元の活性化を図る。</p>
⑦ 取組スケジュール	<p>2022年4月 銀寄せ栗の植樹活動 2022年8月 もったいないーとの1日合宿(黒豆の農作業体験、酪農体験、スマート農業見学)</p>
⑧ 活動写真	



<p>⑨ 取組に対する一言 (学生側)</p>	<p>農家の方との貴重な交流を通して、農業や天王地区の現状を知り、それを外に発信できたらと思っています。また、その現状がある中で、自分たちに何ができるのかを考え、少しでも貢献できるような活動を模索していきます。さらに、農業体験で実感した食べ物の大切さを、食品ロスを削減する活動を介して広めていきたいと思っています。</p>
<p>⑩ 取組に対する一言 (農空間側)</p>	<p>集落内ベンチャー「天王ナチュラルファーム」では、レジャーとしての都市農村交流ではなく、大阪都市部で生活しながら、車で一時間圏にある能勢町天王地区に通い、副業として里山農業の担い手となる「新しい兼業農家」の創出を目指して、持続可能な里山農業の形成に向けた「関係人口・交流人口」の拡大に取り組んでいます。「大阪大学もったいないーと」の皆さんには、ワークショップ等を通じて課題解決に繋がる天王地区の潜在力を学生目線で発掘し、「食品ロス削減活動」を介して学生や都市住民に「里山農業の価値」を広く発信しながら共感者を巻き込む「魅力伝達者」として、多様な感性による自由なアイデアと積極的な行動力に期待しています。</p>